

船舶関連機器のサプライチェーン強靱化事業

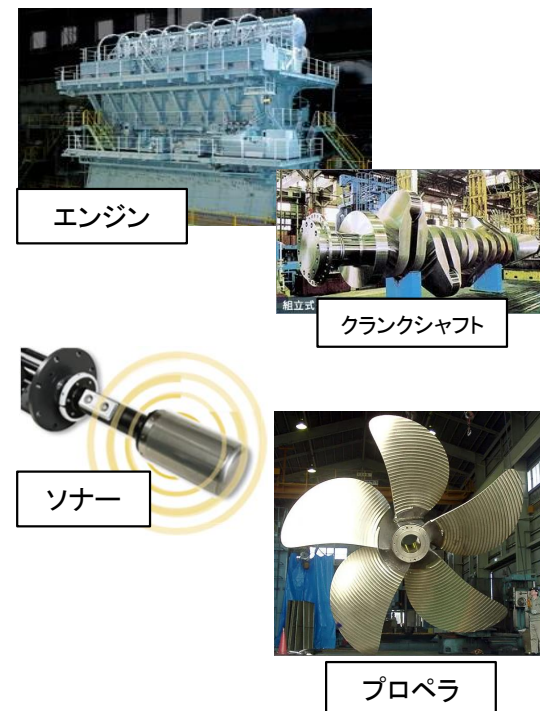
背景

- 船舶は、四方を海で囲まれた我が国の貿易量の99.5%を支える海上輸送を担っており、**国民生活・経済活動の維持に不可欠**。
- 船舶を構成する重要機器のうち**生産途絶等のおそれが顕在化**しているものについて、サプライチェーンを強化するため、**安定的な供給体制の確保に取り組む事業者**に対し、必要となる**設備投資について複数年にわたる支援**を実施。

事業内容

① ガス燃料の普及に対応した船舶用機関（エンジン）及びその部品（クランクシャフト）の国内生産基盤強化のための安定生産体制構築

- ➔ 2ストロークの船舶用主機関のボトルネック工程（**性能試験**）に係る設備の導入等を支援することで、**国内生産基盤を2025年までに強化**する。
- ➔ 4ストロークの船舶用主機関のボトルネック工程（**性能試験**）に係る設備の導入等を支援することで、**国内生産基盤を2026年までに強化**する。
- ➔ 2ストロークの船舶用機関に用いられるクランクシャフトのボトルネック工程（**鍛造等**）に係る自動化設備の導入等を支援することで、**国内生産基盤を2026年までに強化**する。



② 航海用具（ソナー）の国内生産基盤強化のための安定生産体制構築

- ➔ 船舶の航行の安全確保に用いられるソナーのボトルネック（**原材料**）に係る設備の導入等を支援することで、**国内生産基盤を2027年までに強化**する。

③ 推進器（プロペラ）の国内生産基盤強化のための安定生産体制構築

- ➔ 船舶の主たる推進力を生み出すプロペラのボトルネック工程（**鍛造・加工**）に係る自動化設備の導入等を支援することで、**国内生産基盤を2027年までに強化**する。

事業スキーム

国

➔
補助(定額)

支援法人*

※経済安全保障推進法に基づき指定

➔
補助(補助率1/3)

民間企業